

大戸川ダムに先行して大戸川の河道整備を行うと、 天ヶ瀬ダムの洪水調節能力を低下させ、 下流の宇治川・淀川に対して負担が増加するおそれがある。

- 大戸川の河道整備を行い、氾濫していた水が川の中を流れると、その分下流の天ヶ瀬ダムへの流入が早まり、天ヶ瀬ダムにかかる負荷が増大します。
- 天ヶ瀬ダム再開発後であっても、大戸川ダムを整備しない場合は、天ヶ瀬ダムの洪水調節容量が不足します。ここで大戸川の河道整備を行うと、天ヶ瀬ダムの洪水調節容量がさらに不足することとなり、下流の宇治川・淀川に対して負担となります。

